

注3

大学番号：私040

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

東北薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東北薬科大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務務部企画課

職名・氏名 カチョウホ サ ハタ ナカ トオル
課長補佐 畑 中 亨

電話番号 022-727-0034

（夜間） （同上）

F A X 022-275-2383

e-mail h-soumu@tohoku-pharm.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等 3 ~ 6
2. 授業科目の概要 7 ~ 9
3. 施設・設備の整備状況、経費 10
4. 既設大学等の状況 11
5. 教員組織の状況 12 ~ 15
6. 留意事項に対する履行状況等 16
7. その他全般的事項 17 ~ 19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東北薬科大学

(2) 大学名

東北薬科大学

(3) 大学の位置

〒981-8558
宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	タカヤナギ モトアキ 高柳元明 (平成13年2月17日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	タカヤナギ モトアキ 高柳元明 (平成13年2月17日)		
研究科長	タカヤナギ モトアキ 高柳元明 (平成13年2月17日)	サクラダ シノブ 櫻田 忍 (平成25年4月1日)	高柳研究科長の退任により(平成25年4月1日) (25)
学部長		サクラダ シノブ 櫻田 忍 (平成26年4月1日)	学部長を新たに設置 (平成26年4月1日) (26)
薬学科長	サクラダ シノブ 櫻田 忍 (平成22年4月1日)		学科長を廃止 (平成26年4月1日)
生命薬科学科長	タカハタ ヒロキ 高畑 廣 紀 (平成22年4月1日)		学科長を廃止 (平成26年4月1日)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
平成26年度に報告する内容 → (26)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬科学専攻(博士課程後期課程) 博士(薬科学)	3年	3人	9人	基礎となる学部等 薬学部生命薬科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	3人 (-) [-]	1人	3人 (-) [-]	1人	3人 (-) [-]	1人	3人 (-) [-]	1人	1.11倍	
志願者数	3人 (1) [2]	1人 (-) [-]	3人 (-) [2]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]		
受験者数	3人 (1) [2]	1人 (-) [-]	3人 (-) [2]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]		
合格者数	3人 (1) [2]	1人 (-) [-]	3人 (-) [2]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]	5人 (1) [3]	1人 (-) [-]		
B 入学者数	3人 (1) [2]	1人 (-) [-]	3人 (-) [2]	1人 (-) [-]	4人 (1) [2]	1人 (-) [-]	4人 (1) [2]	1人 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1		1		1.33					

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 3	[-] -	[2] 3	[-] -	[2] 4	[-] -	
2年次	/		[2] 3	[-] -	[2] 3	[-] -	
3年次	/		/		[2] 3	[-] -	
計	[2] 3		[4] 6		[6] 10		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	3人	0人	平成24年度	人	人		0%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	3人	0人	平成25年度	人	人		0%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	4人	0人	平成26年度	人	人		0%
合計	10人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程後期課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	生命科学特別演習 I	1 通		4		7	4 3 2	1 2	6 5	兼 1 —	教授1名退職、准教授1名教授に昇格、准教授1名採用、助手1名が助教に昇格、教授1名退職し客員教授(兼任)に変更(26) 採用により変更(25) 講師が准教授に昇格(24)
	・生化学特別演習 I										
	・細胞制御学特別演習 I										
	・分子認識学特別演習 I										
	・感染生体防御学特別演習 I										
	・がん糖鎖制御学特別演習 I										
	・生体膜情報学特別演習 I										
	・機能病態分子学特別演習 I										
	生命科学特別演習 II	2 通		4		7	4 3 2	1 2	6 5	兼 1 —	教授1名退職、准教授1名教授に昇格、准教授1名採用、助手1名が助教に昇格、教授1名退職し客員教授(兼任)に変更(26) 採用により変更(25) 講師が准教授に昇格(24)
	・生化学特別演習 II										
	・細胞制御学特別演習 II										
	・分子認識学特別演習 II										
	・感染生体防御学特別演習 II										
	・がん糖鎖制御学特別演習 II										
	・生体膜情報学特別演習 II										
	・機能病態分子学特別演習 II										
	生命科学特別研究	1・2・3通		20		7	4 3 2	1 2	6 5	兼 1 —	教授1名退職、准教授1名教授に昇格、准教授1名採用、助手1名が助教に昇格、教授1名退職し客員教授(兼任)に変更(26) 採用により変更(25) 講師が准教授に昇格(24)
	・生化学特別研究										
	・細胞制御学特別研究										
	・分子認識学特別研究										
	・感染生体防御学特別研究										
	・がん糖鎖制御学特別研究										
	・生体膜情報学特別研究										
	・機能病態分子学特別研究										
	創薬科学特別演習 I	1 通		4		4	2 3	2 3 5	6 5 2	兼 1 —	教授が退職し准教授が教授に昇格、助手が助教に昇格(26) 助手が助教に昇格及び採用により変更(25) 講師1名が退職(25) 講師2名が退職(24) 講義担当者の見直しにより助教1名追加(24)
	・薬品物理化学特別演習 I										
	・医薬合成化学特別演習 I										
	・創薬化学特別演習 I										
	・天然物化学特別演習 I										
	・分子薬化学特別演習 I										
	創薬科学特別演習 II	2 通		4		4	2 3	2 3 5	6 5 2	兼 1 —	教授が退職し准教授が教授に昇格、助手が助教に昇格(26) 助手が助教に昇格及び採用により変更(25) 講師1名が退職(25) 講師2名が退職(24) 講義担当者の見直しにより助教1名追加(24)
	・薬品物理化学特別演習 II										
	・医薬合成化学特別演習 II										
	・創薬化学特別演習 II										
	・天然物化学特別演習 II										
	・分子薬化学特別演習 II										
	創薬科学特別研究	1・2・3通		20		4	2 3	2 3 5	6 5 2	兼 1 —	教授が退職し准教授が教授に昇格、助手が助教に昇格(26) 助手が助教に昇格及び採用により変更(25) 講師1名が退職(25) 講師2名が退職(24) 講義担当者の見直しにより助教1名追加(24)
	・薬品物理化学特別研究										
	・医薬合成化学特別研究										
	・創薬化学特別研究										
	・天然物化学特別研究										
	・分子薬化学特別研究										

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し

修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数 (変更なし)

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目 6	科目	科目 6	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	平成25年4月1日に附属病院(9,741.40㎡)を設置したため(25)			
	校舎敷地	29,295.86㎡	—	㎡	29,295.86㎡				
	運動場用地	28,047.00㎡	—	㎡	28,047.00㎡				
	小 計	57,342.86㎡	—	㎡	57,342.86㎡				
	そ の 他	13,041.40㎡ 3,300㎡	—	㎡	13,041.40㎡ 3,300㎡				
	合 計	70,384.26㎡ 60,642.86㎡	—	㎡	70,384.26㎡ 60,642.86㎡				
(2) 校舎	専 用	53,600.8㎡	—	㎡	53,600.8㎡				
	(— ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	28室	28室	12室	2室 (補助職員 一人)	— 室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院薬学研究科薬科学専攻			37 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	大学全体	101,199 [41,603] (107,296 [42,615])	958 [450] (1,014 [480])	5,730 [4,883] (4,236 [2,618])	400 (472)	— (—)	— (—)		
計	101,199 [41,603] (107,296 [42,615])	958 [450] (1,014 [480])	5,730 [4,883] (4,236 [2,618])	400 (472)	— (—)	— (—)			
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	2,036㎡	215		17万冊					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	2,496.35㎡	運動場		テニスコート2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル(タイトル数5,730)を含む
		教員1人当り研究費等	603千円	603千円	図書購入費	90,800千円	90,800千円	90,800千円	
	共同研究費等	271千円	271千円	設備購入費	135,300千円	135,300千円	135,300千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		780千円	780千円	780千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、教育研究助成金、受託研究等積極的な外部資金の導入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東北薬科大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
薬学部										
薬学科	6	300		1800	学士 (薬学)	1.09	平成18年度	宮城県仙台市青 葉区小松島4丁 目4番1号		
生命薬科学科	4	40		160	学士(薬 科学)	0.88	平成18年度			
大学院薬学研究科										
薬科学専攻										
博士課程前期課程	2	20		40	修士(薬 科学)	0.68	平成22年度			
博士課程後期課程	3	3		9	博士(薬 科学)	1.1	平成24年度			
薬学専攻										
博士課程	4	3		12	博士(薬 学)	0.67	平成24年度			
大学の名称	〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

＜大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程後期課程＞

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(高)	佐々木有亮(64)	平成24年4月	生化学特別演習Ⅰ 生化学特別演習Ⅱ 生化学特別研究						平成25年3月 佐々木有亮教授退職
					専	教授	関政幸(51)	平成25年4月	生化学特別演習Ⅰ 生化学特別演習Ⅱ 生化学特別研究	平成25年4月より担当
専	教授(高)	仁田一雄(63)	平成24年4月	分子認識学特別演習Ⅰ 分子認識学特別演習Ⅱ 分子認識学特別研究						平成26年3月 仁田一雄教授退職 <small>他に担当教員がいるため、支障はない。(准教授が教授に昇格)</small>
専	教授(高)	高畑廣紀(63)	平成24年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究						平成26年3月 高畑廣紀教授退職 <small>他に担当教員がいるため、支障はない。(准教授が教授に昇格)</small>
専	教授	遠藤泰之(58)	平成24年4月	創薬化学特別演習Ⅰ 創薬化学特別演習Ⅱ 創薬化学特別研究						
専	教授	加藤正(54)	平成24年4月	医薬合成化学特別演習Ⅰ 医薬合成化学特別演習Ⅱ 医薬合成化学特別研究						
専	教授	浪越通夫(60)	平成24年4月	天然物化学特別演習Ⅰ 天然物化学特別演習Ⅱ 天然物化学特別研究						
専	教授	井ノ口仁一(58)	平成24年4月	機能病態分子学特別演習Ⅰ 機能病態分子学特別演習Ⅱ 機能病態分子学特別研究						
専	教授	東秀好(56)	平成24年4月	生体膜情報学特別演習Ⅰ 生体膜情報学特別演習Ⅱ 生体膜情報学特別研究						
専	教授	顧建国(48)	平成24年4月	細胞制御学特別演習Ⅰ 細胞制御学特別演習Ⅱ 細胞制御学特別研究						
専	教授	柴田信之(55)	平成24年4月	感染生体防御学特別演習Ⅰ 感染生体防御学特別演習Ⅱ 感染生体防御学特別研究						
専	教授(高)	宮城妙子(69)	平成24年4月	がん糖鎖制御学特別演習Ⅰ がん糖鎖制御学特別演習Ⅱ がん糖鎖制御学特別研究	兼任	教授(高)	宮城妙子(71)	平成26年4月	がん糖鎖制御学特別演習Ⅰ がん糖鎖制御学特別演習Ⅱ がん糖鎖制御学特別研究	平成26年3月退職 客員教授として科目を担当(26)
専	准教授	細野雅祐(51)	平成24年4月	分子認識学特別演習Ⅰ 分子認識学特別演習Ⅱ 分子認識学特別研究	専	教授	細野雅祐(53)	平成26年4月	分子認識学特別演習Ⅰ 分子認識学特別演習Ⅱ 分子認識学特別研究	平成26年4月に教授へ昇格
専	准教授	吉村祐一(49)	平成24年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究	専	教授	吉村祐一(51)	平成26年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究	平成26年4月に教授へ昇格
専	准教授	高橋央宜(47)	平成24年4月	薬品物理化学特別演習Ⅰ 薬品物理化学特別演習Ⅱ 薬品物理化学特別研究						
専	准教授	猪股浩平(47)	平成24年4月	創薬化学特別演習Ⅰ 創薬化学特別演習Ⅱ 創薬化学特別研究						
専	准教授	安保明博(47)	平成24年4月	生化学特別演習Ⅰ 生化学特別演習Ⅱ 生化学特別研究						
					専	准教授	稲森啓一郎(40)	平成25年4月	機能病態分子学特別演習Ⅰ 機能病態分子学特別演習Ⅱ 機能病態分子学特別研究	平成25年4月 新採用
					専	准教授	佐々木雅人(40)	平成26年4月	感染生体防御学特別演習Ⅰ 感染生体防御学特別演習Ⅱ 感染生体防御学特別研究	平成26年4月 新採用
専	講師(高)	鈴木稠徳(64)	平成24年4月	創薬化学特別演習Ⅰ 創薬化学特別演習Ⅱ 創薬化学特別研究						平成24年12月 鈴木稠徳講師退職 他に担当教員が1名いるため、支障はない。
専	講師	中澤孝浩(39)	平成24年4月	天然物化学特別演習Ⅰ 天然物化学特別演習Ⅱ 天然物化学特別研究						平成24年3月 中澤孝浩講師退職 他に担当教員が1名いるため、支障はない。
専	講師	福田友彦(46)	平成24年4月	細胞制御学特別演習Ⅰ 細胞制御学特別演習Ⅱ 細胞制御学特別研究	専	准教授	福田友彦(46)	平成24年4月	細胞制御学特別演習Ⅰ 細胞制御学特別演習Ⅱ 細胞制御学特別研究	平成24年4月に准教授へ昇格
専	講師	三苦純也(46)	平成24年4月	生体膜情報学特別演習Ⅰ 生体膜情報学特別演習Ⅱ 生体膜情報学特別研究						
専	講師	太田公規	平成24年4月	創薬化学特別演習Ⅰ						

		(39)		創薬化学特別演習Ⅱ 創薬化学特別研究						
専	講師	渡邊一弘 (37)	平成24年4月	医薬合成化学特別演習Ⅰ 医薬合成化学特別演習Ⅱ 医薬合成化学特別研究						
専	講師	小田彰史 (39)	平成24年4月	薬品物理化学特別演習Ⅰ 薬品物理化学特別演習Ⅱ 薬品物理化学特別研究					平成24年3月 小田彰史助教退職 他に担当教員が1名いるため、支障はない。	
専	助教	菅原栄紀 (36)	平成24年4月	分子認識学特別演習Ⅰ 分子認識学特別演習Ⅱ 分子認識学特別研究						
専	助教	中川哲人 (37)	平成24年4月	生体膜情報学特別演習Ⅰ 生体膜情報学特別演習Ⅱ 生体膜情報学特別研究						
専	助教	上村聡志 (34)	平成24年4月	機能病態分子学特別演習Ⅰ 機能病態分子学特別演習Ⅱ 機能病態分子学特別研究					平成23年8月 上村聡志助教退職	
					専	助教	郷 慎司 (29)	平成24年4月	機能病態分子学特別演習Ⅰ 機能病態分子学特別演習Ⅱ 機能病態分子学特別研究	平成24年4月より担当
専	助教	鵜飼和代 (38)	平成24年4月	天然物化学特別演習Ⅰ 天然物化学特別演習Ⅱ 天然物化学特別研究						
専	助教	伊左治知弥 (36)	平成24年4月	細胞制御学特別演習Ⅰ 細胞制御学特別演習Ⅱ 細胞制御学特別研究						
専	助教	永福正和 (36)	平成24年4月	機能病態分子学特別演習Ⅰ 機能病態分子学特別演習Ⅱ 機能病態分子学特別研究						
専	助教	名取良浩 (29)	平成24年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究						
					専	助教	若松秀章 (42)	平成24年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究	平成24年4月より担当
					専	助教	天野健一 (29)	平成25年4月	薬品物理化学特別演習Ⅰ 薬品物理化学特別演習Ⅱ 薬品物理化学特別研究	平成26年3月退職 平成25年4月 新採用
					専	助教	真鍋法義 (34)	平成26年4月	薬品物理化学特別演習Ⅰ 薬品物理化学特別演習Ⅱ 薬品物理化学特別研究	平成26年4月 新採用
					専	助教	山崎寛之 (31)	平成25年4月	天然物化学特別演習Ⅰ 天然物化学特別演習Ⅱ 天然物化学特別研究	平成25年4月に助教へ昇格
					専	助教	斎藤有香子 (38)	平成26年4月	分子薬化学特別演習Ⅰ 分子薬化学特別演習Ⅱ 分子薬化学特別研究	平成26年4月に助教へ昇格
					専	助教	立田岳生 (32)	平成26年4月	分子認識学特別演習Ⅰ 分子認識学特別演習Ⅱ 分子認識学特別研究	平成26年4月に助教へ昇格

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画			変 更 状 況			年 齢 構 成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	教員の 定年年齢	定年を延長 している教員数
7 (1 1)	18 (1 8)	25 (2 9)	10 [3]	21 [3]	31 [6]	65 歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

「該当なし」

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程後期課程>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
/	/

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「FD・SD推進委員会」

●FD・SD推進委員会規程

(目的)

第1条 東北薬科大学における学部・大学院の授業改善その他のファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）活動及び事務職員等の職能開発（スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するためにFD・SD推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 薬学研究科長
- (2) 薬学部長
- (3) 総合科目主任
- (4) 薬学教育センター長
- (5) 化学系薬学科目、生物系薬学科目、医療系薬学科目担当の教員の中から学長が指名する者各1名
- (6) 事務局長
- (7) その他学長が必要と認めたもの

(役割)

第3条 委員会は、本学のFD・SD活動が持続的に実行されるよう、次の事項について審議するとともに、各年度におけるFD・SD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD・SD活動の企画立案
- (2) FD・SD活動の実施計画の立案
- (3) FD・SD活動の評価
- (4) FD・SD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

(会議)

第4条 委員会に、委員長を置き、委員長は研究科長をもって充てる。

- 2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、あらかじめ委員長が委員の中から指名する者をもって代理とすることができる。
- 3 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、教務課及び企画課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、委員会の発議により、学長の承認を得て理事会の議を経て決定する。

附 則

この規程は、平成21年6月1日より施行する。

附 則 (平成22年4月1日)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年4月1日)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

年2回開催 (教員8名、事務局1名)

c 委員会の審議事項等

- ・FD・SD活動の企画立案
- ・FD・SD活動の実施計画の立案
- ・FD・SD活動の評価
- ・FD・SD活動に関する情報の収集と提供

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD・SD活動の実施計画 (案) 作成
- ・平成24年度後期授業アンケート終了報告
- ・平成24年度後期「授業の自己評価報告書」完成報告
- ・平成24年度前期FD・SD活動報告
- ・平成25年度後期公開授業への参観及び教員へのフィードバック
- ・平成25年度FD・SD講演会

b 実施方法

委員長が委員を招集し会議を開催する

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・平成25年4月26日に委員会を開催 (教員8名、事務局1名出席、事務局2名同席)
- ・平成25年10月21日に委員会を開催 (教員8名出席、事務局1名出席、事務局2名同席)
- ・平成26年3月6日に委員会を開催 (教員6名出席、事務局1名出席、教員2名欠席、事務局2名同席)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・年2回学生による授業アンケートを実施し、授業担当教員はその結果を受けて、自己評価報告書を作成し、反映させている。
- ・公開授業を委員参観し、委員会の意見を担当教員にフィードバックし改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年2回授業アンケートを実施している。実施時期は、前期授業最終時 (7月)、後期授業最終時 (1月)

b 教員や学生への公開状況、方法等

・アンケート結果について、全教職員に公開している。また、学生に対しては一部公開している。なお、学生からのコメントに対する対応についても公開している。

- ・公開方法としては、教員には学内の電子回覧にて、学生には掲示板にてそれぞれ公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の建学の精神・理念に照らし、その使命及び目的を達成するため、本学における教育、研究活動等の状況について、自己点検・評価を行い、その水準の向上を図る。自己点検・評価を実施するため、自己点検評価委員会を置き、その中に教育部門、研究部門、管理部門に関する小委員会置き、点検・評価を実施する。小委員会で行った自己点検・評価の結果を自己点検・評価委員会で検証、整理し、体系的総合的な自己点検・評価報告書を作成する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・第1回：対象年（平成元年4月～平成10年3月） 発刊時期：平成11年
- ・第2回：対象年（平成10年4月～平成13年3月） 発刊時期：平成13年
- ・第2回の自己点検評価報告書に基づき、外部評価を実施し、「外部評価報告書」を作成
- ・第3回：対象年（平成14年4月～平成18年3月）は財団法人日本高等教育評価機構からの認証評価を受けるべく、評価機構の評価基準に従い、自己点検・評価を実施した。
- ・第4回：対象年（平成18年4月～平成21年12月）は薬学教育評価機構からの分野別評価を受けるべく、評価機構の評価基準に従い、自己点検・評価を実施した。
- ・新制度の『大学院4年制博士課程』における研究・教育などの状況に関する自己点検・評価（平成24（2012）年8月）
文部科学省「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」の提言に基づく自己点検・評価を実施した。
- ・平成25年度大学機関別認証評価（公益法人日本高等教育評価機構）を受審すべく、自己点検評価書を作成した。（平成25年度）

b 公表方法

- ・第1回、第2回自己点検・評価報告書は、学内のすべての役員・教職員に配布。その他、二松会・父母会、同窓会、文部科学省等の監督官庁並びに関係官庁等、大学等の研究機関—教育・研究関係（日本高等教育評価機構、日本私立大学協会、日本私立薬科大学協会等）、病院等に配布。
- ・平成19年日本高等教育評価機構実施の自己評価及び平成22年薬学教育評価機構の評価報告書は大学ホームページ上に公開
- ・新制度の『大学院4年制博士課程』における研究・教育などの状況に関する自己点検・評価（平成24（2012）年8月）
文部科学省「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」の提言に基づく自己点検・評価は大学ホームページ上に公開
- ・平成25年度に受審した大学機関別認証評価（日本高等教育評価機構）の自己点検評価書及び日本高等教育評価機構の評価報告書は大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に日本高等教育評価機構の認定評価を受け、大学評価基準を満たしているとの認定を受けた。
認定期間（平成19年4月1日から平成26年3月31日まで：7年間）
- ・平成25年度に日本高等教育評価機構の機関別評価を受審し、同機構が定める基準を満たしているとの認定を受けた。
- ・平成27年度に薬学教育評価機構の分野別評価を受審する予定

（注）・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年7月1日)